

■第52回 九州大学附属図書館貴重文物講習会■

「クンケル先生とそのローマ法研究」

講師: 西村 重雄 氏 (九州大学名誉教授)

会場: 九州大学 中央図書館 (伊都キャンパス イーストゾーン)

4階 Sky Cute.Commons (きゅうとコモンズ)

日時: 令和6年11月15日(金) 15:00~16:15

申込: 以下の申込フォームにてお申込みください

・参加無料

・オンライン同時配信あり (要申込)

<https://forms.office.com/r/kzmq85zmt5>



📱 二次元コードからはこちら

ヴォルフガング・クンケル(1902~1981)

ドイツにおける代表的法制史家として、

長年ミュンヘン大学法学部に在任し、内外の研究者を数多く育てた碩学。

■貴重文物講習会関連展示■

クンケル先生の書斎から —遺文庫にみるそのローマ法研究—

展示監修 西村重雄名誉教授 川島翔准教授(法学研究院)

会場: 九州大学 中央図書館(伊都キャンパス イーストゾーン)

3階エントランスホール

会期: 令和6年11月1日(金)~25日(月)

※観覧は開館時間に準じます 無料

・来館の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

・お車で越しの方は、守衛所にて、図書館の展示/講習会にいらした旨、お伝えください。

■第52回 九州大学附属図書館貴重文物講習会関連展示紹介■

クンケル文庫は、クンケル先生の高弟でミュンヘン大学での講座承継者でもあったネル教授の斡旋によって、九州大学附属図書館に収蔵されました。

その特徴としては、ご遺族の「まとまった形で保存してほしい」という意向にそって、書齋にあったそのままが、九州大学附属図書館に直行したものであるということ。

クンケル先生は、1902年ドイツのヘッセン州フルトの生まれです。フライブルク大学でエルンスト・レヴィ氏(1881-1968)のもと学位を得ました。1924年のことです。それから、およそ100年…

貴重文物講習会関連展示として、初めてクンケル文庫を展示することになりました。

展示では、クンケル先生の生涯とそのローマ法研究について、優れた教育者でもあった先生の門下を集った学者たちの活躍も含め、大きく6つのパートに分けて概観します。展示にあたり、西村重雄本学名誉教授、法学研究院川島翔准教授の全面的なご協力をいただきました。

九州大学法文学部創立100周年のこの年に、時を同じくして法学ゆかりの展示をご覧ください。小規模ではありますが、クンケル先生の研究者・教育者としての存在の大きさを感じていただければ幸いです。

【展示図書紹介】

Corpus iuris civilis, Gottingae : J.C. Dieterich, 1776年

ゲバウエル(1690-1773)が、長年にわたり収集したユスティニアヌス帝法典の写本の異同研究を、ゲッティンゲン大学に残された写本をもとにシュパンゲンベルク(1738-1806)が編集発行したもの。現在もこれに代わるものはない。



【ローマ法は、今も生きる!】

西欧大陸諸国は、ローマ法を実定法として使用しており、近代法典はいずれもそれを基礎に編纂したものであり、日本民法典もその流れのなかにあり、ローマ法の知恵を今日も使い続けているといっても過言ではない。

【所在地】

〒819-0395

福岡市西区元岡744

九州大学伊都キャンパスイーストゾーン

<https://www.lib.kyushu->

[u.ac.jp/ja/libraries/central/locations](https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/libraries/central/locations)



九州大学附属図書館
ウェブサイト
交通アクセスページ

